

## 第3学年 算数科学習指導案

児童 2組 男17名 女16名 計33名  
指導者 T1 外 舘 秀 幸  
T2 瀬 川 政 子

1 単元名 「はしたの大きさの表し方を考えよう」(東京書籍3年下)

2 単元について

(1) 目 標

小数の意味や表し方について理解し、小数の加減計算ができるようにする。

(2) 指導にあたって

本単元はこれまで学習してきた長さや体積の「7cmと3mm」、「5lと8dl」などの表し方を踏まえて端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを理解し、それらを適切に用いることができるようにするのがねらいである。また、小数についてもこれまでの整数と同様、加法及び減法が考えられることを知り、それらの計算の仕方を考え、計算ができるようにすることもねらいである。

児童は概ね意欲的に授業に取り組み、自力解決の場面では自分の考えをノートに書くことができるようになってきた。しかし、一つの方法でつまずくと既習事項を活用しながら答えを導くことができず、思考が止まってしまう児童もいる。はしたの量の表し方については、ほとんどの児童が十進位取り記数法をもとに長さや体積の目盛りを読むことができる。一方で「28は10を2こと1を8こあわせた数」といった整数の構成をとらえるのが苦手の児童も数名いるので補充指導が必要である。

指導にあたっては、小数が整数の十進位取り記数法の考えを1より小さい数に拡張したものであることを理解させることが大切であると考え。そのために、小数を数直線上に表しながら大小や順序についての関係を調べたり、0.1の何こ分と考えれば整数と同じ見方ができることや10こ集まると1つ上の位に繰り上がることなど、整数との関連に着目させ説明したりできるようにすることを重視していきたい。また、小数の加減計算においても0.1を単位として整数の計算に帰着して考え、次学年以降の小数の学習につなげたい。

(3) 指導計画(12時間)

第1次	はしたの大きさの表し方	(3時間)
第2次	小数のしくみ	(2時間) 本時は2/2
第3次	小数のたし算とひき算	(4時間)
第4次	小数のいろいろな表し方	(1時間)
第5次	まとめ	(2時間)

(4) 評価規準

- 小数を用いると整数で表せない端数部分の大きさを表せるよさに気づき、小数を生活や学習に用いようとしている。(関・意・態)
- 小数は整数の十進位取り記数法を拡張していることをとらえ、小数の仕組みや構成、加減計算の仕方を考え表現することができる。(考え方)
- 端数部分の大きさを小数を使って表したり、 $1/10$ の位までの小数の加減計算をしたりすることができる。(技能)
- 小数が用いられる場合や小数の仕組みについて知り、小数の意味や、 $1/10$ の位までの小数の加減計算の意味や計算の仕方について理解する。(知・理)

3 本時の指導

(1) 目 標

- 小数の大小関係について理解することができる。

(2) 研究の視点に関わっての工夫

- ◎視点1—自力解決において、数直線または0.1をもとにした説明という方法に絞って取り組ませることにより、自分の考えを持たせたい。
- ◎視点2—比較する位に視点を置いて学び合うことにより、「小数も整数と同じ考えで比べることができる」というまとめに導きたい。

(3) 展開

	学習内容と活動	活動への支援（・）評価（◆）・視点（◎）
つかむ	<p>1 問題をつかむ</p> <p>○整数どうしの数字の大小のくらべ方を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2.9と3ではどちらが大きいでしょうか。</p> <p>○既習の問題との違いを見つける。</p> <p>2 課題をつかむ</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小数と整数の大きさのくらべ方を考えよう。</p>	<p>・整数どうしの比較では、同じ位の数から位がちがう数へと問題をかえていき、上の位から比べるよさを想起させる。</p> <p>・単に数の大小比較ではなく、そこから読み取ることができるきまりを見つけていくことを確認させる。</p>
10		
自分の考えを持つ	<p>3 見通しを持つ</p> <p>○方法の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線に表して考える。</li> <li>・0.1をもとにした考えを言葉で説明する。</li> </ul> <p>4 自力解決する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0.1を最小目盛りとした数直線を用いて、2.9と3をかきこみ比較する。</li> <li>・3と2.9が0.1の□こ分になるかを考え比較する。</li> </ul>	<p>◎教師は見通す段階でもとになるもの（0.1）という視点を与え、その根拠を明確にした自力解決に向かわせるようにする。（視点1）</p> <p>・T2は作業が遅れている児童に声を掛けると同時に0.1をもとに何こ分という視点で助言する。</p> <p>◆自分が選んだ方法で、筋道立てて小数と整数の大小を見つけようとしている。（ノート）</p>
10		
学び合う	<p>5 みんなで学び合う</p> <p>○自力解決で行った自分の考えを発表する。</p> <p>○発表された考えの共通点を確認する。</p> <p>○位をそろえて大小を比べることを確認する。</p> <p>6 類題を解く</p> <p>○教科書p18の④適用問題を解き、答えを確認する。</p>	<p>・聞く側の児童は答えを導き出した根拠に着目し、友達の考えの共通点を探るように指示する。</p> <p>◎教師は発表の中の「0.1をもとにして」「大きい位に目をつけて」などのキーワードを全体で示しながら、整数と同じ仕組みであることを確認させる。（視点2）</p> <p>◆小数の場合も整数と同様に、0.1をもとに考え、大きい位に着目して大小の比較ができることに気づく。（発言）</p>
15		
まとめる	<p>7 まとめる</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小数と整数や小数どうしの大きさをくらべるときは、0.1をもとに考え、大きい位に目をつける。</p>	<p>・板書をもとに全体でまとめをする。できる限り児童から出てきた言葉を使い、まとめを自分達のものとする。</p>
5		
つかう	<p>8 適用問題を解く</p> <p>○教科書p18の⑤適用問題を解き、答えを確認する。</p> <p>9 学習を振り返る</p>	<p>・不等号の用語や記号の意味について事前に確認してから問題に取り組みさせる。</p> <p>・T1とT2が丸をつけた後、全体で0.1を基に答えの根拠を確認させる。</p> <p>◆小数と整数、小数どうしの大小比較ができる。（ノート）</p> <p>・本時の授業を振り返り、成就感を持たせることで次時の意欲につなげる。</p>
5		